

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	新築工事において、碎石を敷きならす作業をしていた。碎石を積んだ2tダンプ後方の1段下がった所にて、2tダンプのアオリを外して支えていたが、通常より重く支えきれなくなり、バランスをくずし、ダンプの荷台と後アオリの間に指を挟み負傷した。	55	—
1	14～15	建物解体作業中、解体物をトラックの荷台に積み込むため後部のあおりを外した際に、あおり自体を支えきれず体のバランスが崩れ、背中側に向かって倒れた。倒れた際にあおりが右胸から右腕に当たり、右腕を骨折した。	26	1～9
3	16～17	自社倉庫作業場で、現場から小型貨物自動車を持ち帰った積荷を降ろす際、後ろ向きに移動中、バランスを崩して荷台より落下し、左手首を負傷した。	68	10～29
4	17～18	会社の置場でトラックからセメントをおろしていて、タイヤに足をかけ足がタイヤから外れ、鎖骨を荷台のあおりにぶつけて骨折した。	32	1～9
4	14～15	現場前路上に4tダンプを止めて重機にて泥出し積み込み作業中、荷台に乗り泥を均していた。アオリが低いため泥こぼれ防止の板をキャビンに置きアオリに立っていた際、足元が危うかったのでキャビンに逃れようとして板に足を掛けたところ、重さで板が持ち上がり、その勢いで道路に左腕から転落した。	42	1～9
4	16～17	現場内へ砂利を積載した2tダンプを乗り入れるため、ダンプを停車させゲートを開けていたところ、無人になったダンプが動き出し接触し、ゲートと共に押され足場	36	1～

		とダンプに挟まれた。		9
5	10~ 11	建築工事現場で、仮設通路に鉄骨搬入トレーラーを誘導中、運転手に声を掛けて誘導しようとした際、トレーラーのタイヤが敷鉄板上でスリップし、敷鉄板が被災者側にスライドして、被災者の左足部を直撃した。	29	~ 29
5	15~ 16	通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っており、シートベルトをしていなかった。	31	~ 9
5	15~ 16	事故現場である通勤路（帰路）の緩やかなカーブにて、10tダンプカーと乗用車が正面衝突した。その際、乗用車の後部座席に乗っていた。	22	~ 9
5	11~ 12	現場敷地内にてトラックへの型枠材積み込み時、トラックから下りるときに後ろ向きにジャンプして下りようとし、型枠材（荷台上）に足が引っ掛かって転落し、左膝を強打した。	38	~ 49
6	7~8	現場へ2tダンプで行く途中、雨が降って地面が濡れていたためか、緩いカーブでブレーキを掛けた時、反対側の歩道の縁石にぶつかり、その勢いでハンドルを切り、逆側の石垣にぶつかり止まった車は破損し、運転手が首から肩にかけ負傷した。	38	~ 9
7	9~10	トラックの荷台上で荷付けの作業中、事業主がユンボで資材をトラックへ積み込もうとしたところ、資材に当たらないよう体を避けたためバランスを崩しとっさに地上に飛び降りた際、左足の踵を負傷したもの。	62	~ 9
7	16~17	同業である協力会社へ貸与した足場仮設を回収し、資材置き場にて2tトラックより積み下ろし中に、雨で資材や荷台が濡れていたため、荷台から滑りとっさに左足で着地した際にかかとを骨折したもの。	35	~ 9
7	13~14	H鋼を土場で積み終え確認をする作業中、H鋼の上から降りようとした際に足が滑り、約1mの高さから転落した。床に右半身を打ちつけ負傷した。その日は作業を続けたが、痛みが引かなかった。	54	~ 29
7	6~7	当社工場にて、車両の乗り替えをしていたとき、大型トラックの運転席に乗ろうとしてバランスを崩し、落ちてしまった。その際、右身体腰ベルトに付けていたデジ	44	~

		タルカメラをかばい、地面とカメラの間に手首を挟み骨折した。		29
9	8~9	トラックに材料を積み、コンビニに停車中材料の確認のため、荷台に登ってパイプなどの数を確認している時に、足を踏み外してしまい、パイプなどと一緒に転落、左腕を骨折した。。	21	~ 29
9	9~ 10	被災者は、午前中に搬出車輛（4t車）荷台上で型枠材（単管3.5m×50本）1束を積込中、積込位置を調整するため、玉掛者がタワークレーンに合図を行い揚重したところ、補助員として手伝っていた被災者側へ吊り荷が振れたので、手で荷を押さえたが耐えきれず、荷台上の型枠パネル上かわ（荷台上0.8m）から、後向き状態で約1.8m下の地面に飛び降りて被災した。（トラック荷台の高さ1.05m）	46	~ 9
9	10~ 11	倉庫内で、トラックでの作業員、荷台にあるカゴを降ろそうとして、荷台にのぼろうとした時、つかんだつもりの手掛りをつかみそこねて転倒、その時、同時に左手を地面についてしまい、負傷、左手首を骨折したのを気付かずに痛みをがまんしていたが、次の日、骨折と診断された。	52	—
9	13~ 14	外壁改修工事現場で、ダンプ（2t）の荷台の上で、土納袋の入ったガラを積み込み、袋からガラを取り出す作業中、足元の安全な確保が不十分であったため、勢いが余って荷台から転落し、頭部を地面に打ちつけてしまった。	87	~ 9
10	8~9	搬入ヤードで、搬入車両（コンテナ車）荷台の上でOAフロア材を開梱している時、他の作業員からハンマーの置き場所を聞かれ教えようとして荷台（1300mm）から飛び降りたが、着地の際に右足を強打した。それにより、右脛骨腓骨を骨折してしまった。	36	~ 9
10	16~ 17	型枠材（パネル）を倉庫から第二倉庫へ移動するために3tユニックに積み込みをし、荷崩れ防止用の帯を掛けている最中に、積み荷の材料（高さ≒4.0m）の上から転落し被災する。	44	~ 9
10	10~ 11	RC、SRC道16階建て耐震改修工事現場に於いて、トラッククレーンで解体材をワイヤーモッコで10tダンプに荷降ろしするため、10tダンプのタラップからコボレーン越しに荷台に飛び降りた。その際、足元のバランスを崩して転倒し、左足踵を強打した。	50	~ 49

11	17～ 18	現場の作業を終了し、同僚が運転する車に同乗し、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結によりスリップしセンターラインを越えて走行してしまい、対向車線を走行して来た車両に衝突した。	23	1 ～ 9
11	17～ 18	作業を終了し、同僚を同乗させ、工務店へ戻る途中の緩やかな右カーブを走行中、路面凍結により、スリップしセンターラインを越えて衝突した。	57	1 ～ 9
11	13～ 14	土場作業場にて、事業主の指示の下、コンクリートポンプ車の荷台（高さ2m）に乗りブームのグリスアップをしていた際、足を滑らせてしまい落下した。足がもつれ、受け身が取れず地面に落下したため、腰を強打し負傷した。	24	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html